

製品名: SUN2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86251**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:2000,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:80 kDa; Observed MW:80 kDa

抗原情報

遺伝子名	SUN2
別名	UNC84B
遺伝子ID	25777
SwissProt ID	Q9UH99
免疫原	ヒト SUN2 の合成ペプチド

背景

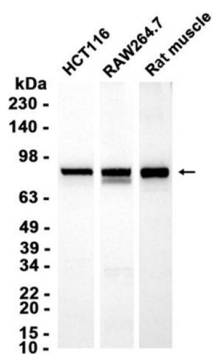
SUN1 (MIM 607723) と SUN2 は、核膜タンパク質の内膜 (INM) であり、核膜を横切る「橋」を形成する LINC 複合体を形成する

ことで、核と細胞質の結合に重要な役割を果たします。LINC複合体は、外核膜 (ONM) に位置するネスプリン (例: SYNE1; MIM 608441) の保存された内腔 KASH ドメインとの相互作用を介して核膜を横切る「橋」を形成します。LINC複合体は、核ラミナと細胞骨格を直接的に結合させ、核の配置と細胞の剛性に寄与します (Haque et al., 2010 [PubMed 19933576]による要約)。[OMIM 提供、2010年11月]

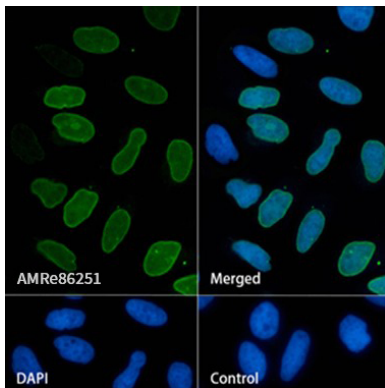
研究分野

-

画像データ



SUN2 ウサギモノクローナル抗体を 1:2000 で使用して、HCT116、RAW264.7 細胞およびラット筋肉組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。



AMRe86251 で SUN2 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。